

法人（事業所）理念		にじ色の様に皆それぞれ色がある。一人ひとりの色を大切に。											
支援方針		ご利用者中心の支援をします。 社会で生き抜く力をつける支援をします。 お子様の将来を考え家庭・幼稚園・学校・地域での生活につながる支援を目指します。											
営業時間（平日）		10	時	00	分	から	19	時	00	分	送迎実施の有無	あり	なし
営業時間（土曜日・祝日等）		8	時	00	分	から	19	時	00	分			
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	日常生活や社会生活を営める様、それぞれの利用者様に適した身体的、精神的、社会的支援を行い、身の回りを清潔にし食事、衣類の着脱、排泄等の生活に必要な基本的技能を獲得できる様支援し、健康状態の更なるチェックと必要な対応を行う。また、意思表示が困難である利用者様の障がい及び発達の過程・特性等に配慮し、小さなサインから心身の異変に気づける様引き続ききめ細やかな支援を行う。											
	運動・感覚	保有する視覚、聴覚、触覚などの感覚を十分に活用できるよう、遊具や道具を使った遊びなどや、その他様々な運動を取り入れ、保有する感覚を総合的に活用できるようにしていく。苦手な動きも遊びに取り入れ、楽しみながら動いていけるように支援し、日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢、下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る様、支援を行う。											
	認知・行動	認知の特性を踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援し（同じ情報処理を繰り返し知覚・行動への実施を出来る様ご利用者様のストレスにならない程度）、認知の偏り等の個々の特性に配慮する。また、こだわりや偏食等に対する支援を行う。感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切行動への対応の支援を行う。											
	言語 コミュニケーション	障害の種別や程度、興味関心等に応じて、言葉によるコミュニケーションだけでなく、表情や身振り、絵カードや具体物を用いて意思のやりとりが行えるようにするなど、コミュニケーションに必要な 基礎的な能力を身につけることができるよう支援する。また、コミュニケーションを円滑に行うために、伝えようとする側と受け取る側との人間関係や、そのときの状況を的確に把握することが重要であることから、場や相手の状況に応じて、主体的にコミュニケーションを展開できるよう支援する。											
	人間関係 社会性	一人遊びから協同遊びへの支援、周囲に子どもがいても無関心である一人遊びの状態から並行遊びを行い、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。集団に参加するための手順やルールを理解し、こどもの希望に応じて、遊びや集団活動に参加できるよう支援するとともに、皆で活動することを通じて、相互理解や互いの存在を認め合いながら、仲間づくりにつながるよう支援し、感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びから、見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。											
家族支援		①児童の発達に関する相談・助言等 ②支援内容に関する相談・助言等 ③家庭生活に関する相談・助言等④集団生活に関する相談・助言等 ⑤兄弟児に関する相談・助言等 ①～⑤を踏まえ支援する。						移行支援		移行先との支援方針・支援内容の共有や、こどもの状態・親の意向・支援方法についての伝達や、進路や移行先の選択についての本人や家族様への相談援助を行い支援する。			
地域支援・地域連携		地域の公園等に行き、地域の方達と引き続き交流していきます。 法人内の各施設と行事等で交流しております。 地域イベントに参加し色々な方々と交流しております。						職員の質の向上		外部研修をはじめ、法人が外部向けに行っている研修への参加など、様々な研修の機会を設けて育成を行っております。それらの内容を社内のスタッフに伝達する社内研修を併用しながら、スタッフの知識と技術の向上を図っております。			
主な行事等		クリスマス・ハロウィン・夏祭り・遠足・パーベキュー・外食・プール・卒業旅行 その他様々な企画を随時開催しております。											